

自助

# 安心安全の東京を実現

-SAFETY TOKYO 宣言-

共助



公助

令和8年度 団体要望 2025年10月

**ATHLETE SAVE JAPAN**

# 【令和8年度 主要要望事項】

## 【要望①】

- ・ 防災のためのAED屋外設置に補助金を  
(災害時に都民がいつでもどこでも命を守れる体制づくり)

## 【要望②】

- ・ AEDを使える人を増やす施策~いのちの教室の活用~  
(東京2020のレガシーとしてアスリートを活用)
- ・ 補足説明①・②

## 【要望①】

災害対応のための  
AED屋外設置に補助金を  
-災害時に都民がいつでもどこでも命を守れる体制づくり-



**ATHLETE SAVE JAPAN**

# AEDの屋外設置の推進

防水・防塵・耐熱に優れた『BOX』を採用し、  
屋外に設置することで24時間使用可能

【設置事例：東京都 有明アリーナ】



AEDは設置温度環境に制限があるため温度管理できるBOXが必要

# AED屋外設置台数の増加を！

市民が利用できるAEDの累計国内設置数  
約690,000台

※耐用年数を7年と仮定

【参考】2023年度 東京都設置台数  
14,856台（国内構成比：14.7%）

**※屋外設置台数は約3%**

（屋外BOXの必要スペックを満たしていないものも含まれる）

令和5年度厚生労働科学研究費補助金『AEDの販売台数と設置台数の全国調査』より

東京都はAEDの設置構成比が最も高い。  
屋外設置を推進し、有効活用することで  
世界で最も人を救える社会作れる可能性  
がある！！

# 有効活用できれば救命率もUP

	2022年(令和4年)
一般市民による応急手当が実施された傷病者	73,010人
目撃された心肺停止	28,834人
心肺蘇生実施	17,068人(59.2%)
<b>AEDの実施率</b>	<b>1,229人(4.3%)</b>

AEDの普及率は  
世界一なのに  
使用率は・・・

	心肺蘇生あり	心肺蘇生なし	AED使用 した場合
1ヶ月後 生存率	12.8%	6.6%	50.3%
1か月後 社会復帰率	8.8%	3.3%	42.6%

AEDを使うと  
約40%の以上の  
確率で社会復帰  
が可能！！

# 【具体案】

## ★AED屋外設置における問題点★

屋外用温度管理BOXの費用が高い為に進まない



## ★AED導入費用に対し補助金を設定★

⇒仕様に屋外設置用BOXが含まれていることを条件とする

## ★都内の屋外設置の推進★

⇒地域住民の安全・安心の担保

⇒災害時・緊急時に使用可能



## 【要望②】

# AEDを使える人を増やす施策

-東京2020のレガシーとしてアスリートを活用-



**ATHLETE SAVE JAPAN**



# 簡易AED講習とスポーツを セットで学校教育へ

～アスリートが実施する簡易型AED講習会+スポーツ体験～

いのちの教室

アスリートが「安心・安全な環境づくり」を発信

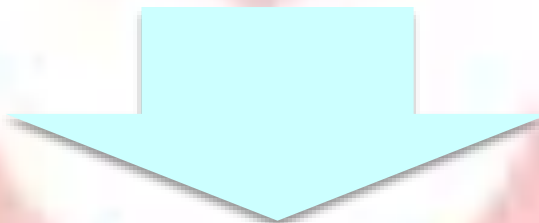


**ATHLETE SAVE JAPAN**

# 誰が教えるのか？

## ◆学校教員？養護教諭？消防？◆

- ・ 教員⇒知識・ノウハウを習得する時間がない
- ・ 消防⇒夜勤明けの時間外勤務での救命講習が多い
- ・ 自治体等⇒コロナの影響で外部講師は招聘しづらい



## ◆AEDの知識のあるアスリートが実施◆

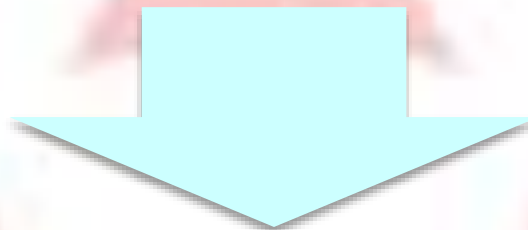
⇒ 定型化されたDVDを使用することで、講師による授業格差がない（オンラインも対応可能）



# 効率の良い教育プログラム

＜心肺蘇生法教育の現状＞

受講者⇒カリキュラムの中で3時間も講習にかける時間がない(消防署など)



**小学校の1コマ  
45分で完了！**

重要なポイントを、下記の4つに絞って伝えることで、短時間で効率よく勉強できるよう工夫している

- ①胸骨圧迫の方法を覚える
- ②AEDの使い方を覚える
- ③心停止の判断基準を持つ
- ④いのちの大切さを学ぶ



# 学校で実践する意義

- 子どもたち、学校のリスク管理
- 救命率向上につながる
  - －心肺蘇生とAEDに関する知識、技術の習得
- いのちの大切さ、絆を考える機会を提供する
  - －命がかけがえのない大切なものだと気づく
  - －共助の精神を身に付ける
  - －自己有用感・自己肯定感を持つ

※アスリートを講師として派遣すれば、  
スポーツ教室もセットで実施が可能！！

東京2020の  
レガシー

# 学校における突然死

日本学校保健会「平成25年度 学校生活における健康管理に関する調査」より(H20～24 5年間)

	小学校 事例数 (%)	中学校 事例数 (%)	高等学校 事例数 (%)	中等教育 学校事例 数(%)	合計事例数 (%)
心肺蘇生法と AEDショック	182 (31.2%)	121 (41.6%)	87 (45.3%)	1 (100.0%)	<b>391</b> (36.6%)
AEDショックのみ	94 (16.1%)	25 (8.6%)	12 (6.3%)	0 (0.0%)	<b>131</b> (12.3%)
心肺蘇生法の み	171	78	50	0	299 (27.9%)
AED装着 ショック					7 (0.7%)
合計	584	291	192	1	1,068

毎年、50人ほどの生徒が亡くなっている

※有効回答(率は全学校数を分母とする) 小学校15,434校(73%) 中学校7,260校(68%) 高等学校2,793校(56%)

【補足①】

いのちの教室とは？



**ATHLETE SAVE JAPAN**



# ASJいのちの教室

## ASJいのちの教室

※専用のDVDと教材を使用

**NEW**

### 熱中症

(オプション)

※DVD中のスライド使用

### AED

(メインプログラム)

※DVD中の動画と  
専用教材を使用

**NEW**

### 頭部外傷 止血

(オプション)

※DVD中のスライド使用

# 実施方法（メインプログラム）

①専用DVDを見ながら



②専用教材を1人1個用意  
（レンタルも可）



③講師と一緒に  
全員で効率よく楽しく学習





# 東京都オリンピック・パラリンピック 教育プログラム掲載

2018年4月より

東京都教育委員会  
Tokyo Metropolitan Board of Education

本文へ > 関連サイトリンク > 都庁総合トップページ ■ サイトマップ >  
文字サイズ [標準] [大] [特大] サイト内検索

東京都オリンピック・パラリンピック教育

東京オリンピック・パラリンピックまで あと **1066** 日

トップ ページ	THEME テーマ	オリンピック・ パラリンピックの精神	スポーツ	文化	環境
	ACTION アクション	学ぶ	観る	する	支える



TOKYO 2020  
PARALYMPIC GAMES

東京都

Navigation: < || >



# 主な賛同アスリート・著名人



飯沼誠司（代表理事）  
元ライフセービング日本代表  
ワールドオーシャンマンレース  
銀メダリスト



有森裕子（マラソン）  
バルセロナオリンピック銀メダリスト  
アトランタオリンピック銅メダリスト



小野伸二（サッカー）  
日韓ワールドカップ  
ドイツワールドカップ  
日本代表



朝日健太郎（ビーチバレー）  
北京オリンピック日本代表



岩崎恭子（競泳）  
バルセロナオリンピック  
金メダリスト  
アテネオリンピック日本代表



篠原信一（柔道）  
シドニーオリンピック  
100キロ超級 銀メダル



市橋有里（マラソン）  
シドニーオリンピック日本代表  
セビリア世界陸上日本代表  
銀メダリスト



田中律子（タレント）  
現：日本SUPヨガ協会会長



池田信太郎（バドミントン）  
北京オリンピック  
ロンドンオリンピック  
日本代表



巻誠一郎（サッカー）  
元日本代表  
ドイツワールドカップ  
ロアッソ熊本

【補足②】

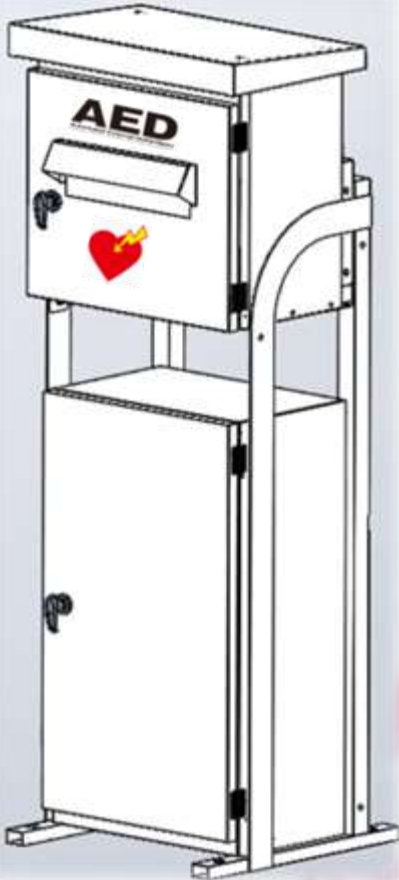
補助対象の屋外用BOX

～台風・高温・低温への耐性～



**ATHLETE SAVE JAPAN**

# 屋外ボックスの必須スペック



イメージ

◎常時庫内温度を20℃～30℃で保温◎

【強風・大雨対策】

防塵・防水性能IP-56以上・アンカー固定

【真夏の高温対策】

外気温：55℃ 湿度85%まで対応  
(庫内温度40℃で冷却ON・30℃でOFF)

【真夏の直射日光・紫外線対策】

遮光性の高い粉体塗装仕様

【真冬の寒さ対策】

外気温：-20℃まで対応  
(庫内温度10℃で加温ON・20℃でOFF)

※AC100Vが必要です。(電気工事が必要な場合は別途手配)

※アンカー工事は要手配